

**教育システム情報学会 (JSiSE)
2015年度 第5回研究会 ご案内**

■テーマ（電子情報通信学会教育工学研究会と並列開催）：スキル学習とその支援技術／一般

■開催日：2016年1月30日（土）

■会場：関西大学千里山キャンパス 100周年記念会館
（阪急電鉄「関大前」駅下車）

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

■趣旨：

スキルは、訓練や経験を通して獲得される知識であり、スポーツやモノづくりに見られる身体動作を伴った身体スキルや、思考方法などのメタ認知スキルなどがあります。このようなスキルは暗黙知であるため言語化することが難しく、したがって伝達したり獲得したりすることが困難です。

近年、このようなスキルの獲得支援のために様々な研究がなされています。例えば、熟達者のスキルを適用したパフォーマンスから特徴を抽出したり、初心者と熟達者のパフォーマンスの差異を指摘することで初心者にスキル獲得を促したりする試みがなされています。また、無意識に行われているスキルを意識させ、言語化させようという取り組みもみられます。しかし、スキルが暗黙知であるだけでなく、多様なスキルがあり、かつスキルの獲得・実践方法が個人の身体的特徴や能力に依存しているという性質もあって、スキルの獲得に有効な支援技術や方法論を明らかにするまでには至っていません。

そこで、2015年度第5回研究会では、スキルについてより深く理解し、スキル獲得のためのより良い方法論について議論したいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

■その他：

研究会終了後、懇親会を計画しています。懇親会に参加をご希望の方は、事前に、下記の問い合わせ先まで、参加希望の旨、ご連絡ください。

■お問い合わせ先：

第5回研究会担当委員(代表：関西大学 小尻智子)

e-mail: kojiri_at_kansai-u.ac.jp（_at_ を@に変えてください）



担当：西野和典，西端律子，浅羽修丈，鷹岡亮（研究会委員会）

■テーマ：21世紀型能力と情報教育/一般

■開催日：2016年3月19日(土)

■開催場所：東京工芸大学 中野キャンパス（〒164-0012 東京都中野区本町2丁目9-5）

<https://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/nakano/>

■発表申込締切：2016年1月19日（火）

■原稿提出締切：2016年2月12日（金）

■趣旨：

次期学習指導要領に対して21世紀型能力は影響力を持つと考えられ、そこでの能力観は情報活用能力と関連するところは大きいと考えられます。特に、情報スキル・情報リテラシーはもちろん、問題解決、メタ認知・適応的学習力、自律的活動力等々の能力を向上させるためのICT活用、あるいは、これらの能力を育成するための学習プロセスにおける情報活用能力との関係、学習・指導方法、教材開発に関連する研究を推進することは重要であると考えられます。

そこで、第6回研究会では、「21世紀型能力と情報教育」に関連する研究発表を募集します。また、教育の情報化に関連した研究発表や一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■発表申込方法：

末尾の「発表申込先」に、電子メールで次の項目（1）～（8）をお送りください。

（注）メールの題名に「2015年度JSiSE第6回研究会申込」と必ずお書きください。

※発表申込締切：2016年1月19日（火）

（1）発表タイトル

（2）発表者（登壇者に○）

（3）所属

（4）概要（200字程度）

（5）キーワード（3～5語程度）

（6）連絡先住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス

（7）懇親会参加希望の有無（懇親会の情報は本募集の末尾に記載しています）

（8）その他、発表に関する要望

■発表原稿提出方法：

末尾の原稿提出先に、フォント埋め込みされたPDF形式で、電子メールにて原稿を送信下さい。なお、PDF原稿については下記(3)の指定を守っていることを必ず確認してください。

※発表原稿と著作物利用許諾書の提出締切：2016年2月12日(金)

(1) 原稿サイズと枚数

原稿は、A4判で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。

(2) 原稿の様式

学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ (<http://www.jsise.org/society/format.html>) に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。その際、「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください。

(3) 原稿送付方法と送付先

以下のあて先に、フォント埋め込みされたPDF形式で、電子メールにて原稿を送信下さい。なお、原稿をPDFに変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください。また、学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ (<http://www.jsise.org/society/format.html>) に掲載しております「著作物利用許諾書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい。

■懇親会：

研究会終了後、特集論文研究会と合同で懇親会を予定しています(会費は4,000～4,500円を予定)。発表申し込みをされる方で参加希望の方は、申込時にその旨をご連絡ください。また、聴講希望の方で参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください。参加人数を把握するために、2016年2月末日までにお申し込みをよろしくお願いいたします。

■お問い合わせ、発表申込、原稿提出先(懇親会事前申込含む)：

山口大学 鷹岡亮(第6回研究会担当委員)

E-mail: ryo@yamaguchi-u.ac.jp

**教育システム情報学会 (JSiSE)
2015 年度 特集論文研究会 講演募集**

担当：西野和典（研究会委員会／学会誌編集委員会），笠井俊信（岡山大学），國宗永佳（信州大学），
光原弘幸（徳島大学），根本淳子（愛媛大学），森本康彦（東京学芸大学）

■テーマ：能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践

■開催日：2016年3月19日(土)

■開催場所：東京工芸大学 中野キャンパス（〒164-0012 東京都中野区本町2丁目9-5）

<https://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/nakano/>

■発表申込締切：2016年1月19日（火）

■原稿提出締切：2016年2月12日（金）

■趣旨：

近年、PBL (Project/Problem-based Learning), 反転学習など、学習者の能動的な学習を促すための学習・教育手法やその中での ICT の活用が注目されています。大学だけではなく初等・中等教育機関においても、組織的にこのような学習形態を取り入れる事例も増加しています。また、職場での学びやアルバイト・ボランティアなどインフォーマルな経験を通じた学びの重要性に関する認識も高まっています。これらの学習・教育は大きな効果が期待される一方で、綿密な教授設計を行わないと、かえって教育効果が低下してしまうことも起こります。また経験を通じた学びは偶発的な要因に左右されるため、教育効果を担保することは非常に困難です。

以上のような状況を踏まえ、本特集論文研究会では、「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践」に関する研究発表を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

本研究会は2017年4月発刊予定の本学会誌論文特集と連動した企画となっており、希望者には本特集への投稿論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。発表者は、コメント希望の有無で2種類の発表形式を選択できます。コメントを希望されます場合には、研究会委員ならびに編集委員会委員が分担して、ご提出いただいた研究会原稿を拝読し、研究会での発表時にコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にいただき、論文特集にご投稿いただきたいと考えております。多くの発表申し込みをお待ちしております。

[学会誌特集号の論文募集はこちら] http://www.jsise.org/journal/cfp2016_offer.html

■主な対象分野：

本特集論文研究会では「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・支援」に関する研究発表を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「能動的な学び」、「自律的な学び」のいずれかに関わる学習環境の研究であれば、本研究会の対象となります。

アクティブラーニング、自己調整学習、Project-Based Learning, Problem-Based Learning, 反転授業、

オンデマンド学習, 学習空間デザイン, インフォーマルラーニング, 経験学習, CMC(Computer-Mediated Communication), ソーシャルメディア, ソーシャルラーニング, コミュニケーション支援, 学習プラットフォーム, 学習ログ収集・分析, 協調学習, 協働学習, CSCL/S, インストラクショナルデザイン, FD/SD, LMS/CMS, ブレンディッドラーニング, モバイル端末, 授業支援, レスポンスシステム, オープンエデュケーション, MOOCS, ピアレビュー, など

■発表申込方法:

末尾の「発表申込先」に, 電子メールで次の項目(1)～(9)をお送りください。

(注)メールの題名に「2015年度JSiSE特集論文研究会申込」と必ずお書きください。

※発表申込締切: 2016年1月19日(火)

- (1) 発表タイトル
- (2) 発表者(登壇者に○)
- (3) 所属
- (4) 概要(200字程度)
- (5) キーワード(3～5語程度)
- (6) コメント希望の有無

コメント希望「有」の方は, 投稿予定カテゴリを以下から選択してください。

原著論文 実践論文 ショートノート 実践速報 未定

・「有」の場合の発表時間は40分(発表20分, 質疑20分)を予定

・「無」の場合の発表時間は25分(発表20分, 質疑5分)を予定

- (7) 連絡先住所, 氏名, 電話番号, 電子メールアドレス
- (8) 懇親会参加希望の有無(懇親会の情報は本募集の末尾に記載しています)
- (9) その他, 発表に関する要望

■発表原稿提出方法:

末尾の「原稿提出先」に, 電子メールにて原稿を送信下さい。なお, PDF原稿については下記(3)の指定を守っていることを必ず確認してください。

※発表原稿と著作物利用許諾書の提出締切: 2016年2月12日(金)

- (1) 原稿サイズと枚数

A4用紙で, コメント希望の有無によって以下の枚数制限があります。

- ・コメント希望【有】: 6枚以上8枚以下の偶数枚をお願いします。
- ・コメント希望【無】: 2枚以上8枚以下の偶数枚をお願いします。

- (2) 原稿の様式

学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ(<http://www.jsise.org/society/format.html>)に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。その際, 「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください。

- (3) 原稿送付方法と送付先

フォント埋め込みされたPDF形式で, 電子メールにて原稿を送信下さい。なお, 原稿をPDFに変

換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi 以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください。また、学会 Web サイトの「著作権について」(<http://www.jsise.org/utility/copyright.html>)に掲載しております「著作物利用許諾書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい。

■懇親会：

研究会終了後、第 6 回研究会と合同で懇親会を予定しています(会費は 4,000～4,500 円を予定)。発表申し込みをされる方で参加希望の方は、申込時にその旨をご連絡ください。また、聴講希望の方で参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください。参加人数を把握するために、2016 年 2 月末日までにお申し込みをよろしくお願いいたします。

■お問い合わせ、発表申込先、原稿提出先（懇親会事前申込含む）：

岡山大学 笠井俊信（編集委員会・特集幹事）

E-mail: kasai@okayama-u.ac.jp

「2015 年度 JSiSE 学生研究発表会」発表者募集のお知らせ

教育システム情報学会 人材育成委員会

関係者各位,

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、教育システム情報学会 人材育成委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、お願い申し上げます。

記

1) 開催地区・開催都市 開催場所・開催日 実行委員長情報

| 開催地区 開催都市 | 開催場所・開催日 実行委員長（連絡先） |
|--------------|---|
| 北海道 千歳市 | 千歳科学技術大学 3月5日（土） 小松川浩（千歳科学技術大学） hiroshi@photon.chitose.ac.jp |
| 北信越 富山市 | 富山大学 開催日未定 ※本発表会にあわせて若手研究者育成ワークショップを開催予定 新村正明（信州大学） hse-submit@jsise.org |
| 東海 名古屋市 | 名城大学名駅サテライト（MSAT） 2月29日（月） 吉根勝美（南山大学） kyoshine@nanzan-u.ac.jp |
| 関西 大阪市 | 関西学院大学大阪梅田キャンパス 3月4日（金） 中西通雄（大阪工業大学） naka@is.oit.ac.jp |
| 中国 広島市 | 広島市立大学サテライトキャンパス 2月29日（月） 岡本勝（広島市立大学） okamoto@hiroshima-cu.ac.jp |
| 四国 高松市 | 香川大学幸町キャンパス 3月4日（金） 林敏浩（香川大学） hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp |
| 九州 長崎市 | 長崎大学文京キャンパス 3月1日（火） 坪倉篤志（日本文理大学） tsubokura@nbu.ac.jp |
| 沖縄 那覇市 | 琉球大学総合情報処理センター2F 第3実習室 3月4日（金） 谷口祐治（琉球大学） taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp |

※上表の最新版は <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/~hayashi/jsise/cfp-gakusei.pdf> で公開します。未定箇所などのご確認にご利用ください。なお、当該ページがアクセスできない場合は、本発表会の全体担当の香川大学の林敏浩（hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp）までお知らせください。

2) 発表方法：

* 研究発表（口頭発表） * ポスター発表（会場によっては募集しておりません。）

3) 発表者資格：

大学生（短大生，高専 4・5 年生・専攻科を含む），大学院生（マスターコース，ドクターコース在籍者）社会人学生も参加可能です。

* JSiSE 正会員である指導教員(または JSiSE 正会員である推薦人)の推薦が必要です。

* 留学生の方の発表（英語・日本語）も歓迎します。

* 発表場所（地区）は，自分の所属する大学の場所と一致していなくても結構です。

* 発表申し込み方法：以下の「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

以上

JSiSE 学生研究発表会 発表申込方法

◆発表申込について

電子メールにて，以下の 6 項目を記入した発表申込書（末尾記載）と発表要約を添付書類にして，2016 年 1 月 29 日（金）までに希望する会場の連絡先メールアドレスに送ってください。送り先は，「開催地区・開催都市一覧」を参照のこと。所属大学の所在地にかかわらず，どの開催場所で発表しても構いませんが，JSiSE 正会員である指導教員(または JSiSE 正会員である推薦人)とあらかじめ相談してください。

項目：①氏名（ふりがな） ②学校名 ③学部・学年 ④JSiSE 正会員である指導教員または推薦者の所属・氏名・E-Mail アドレス ⑤発表希望場所 ⑥口頭発表希望 or ポスター発表希望（地区によっては無いところがあります。）

◆発表の採否について

発表の採用・不採用については，実行委員会で発表要約を審査後，2015 年 2 月 5 日（金）までに結果を通知します。発表希望者が多数の場合は，指導教員（または推薦人）1 名につき発表者を 1 名に限定させていただく場合があります。ご了承ください。

◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は，2 月 15 日（月）までに発表原稿を提出いただきます。発表原稿は希望する会場の実行委員長のメールアドレスに E-Mail に添付して送ってください。発表原稿は，

① フォント埋め込み済みの PDF に限ります。②原稿枚数は A4 サイズで 2 ページ以内です。

③ 原稿にページ数を入れないで下さい。④原稿の発表タイトルは，最初に申請したタイトルから変更しないで下さい。

発表原稿フォーマットは，JSiSE 全国大会発表フォーマット（注）に従うものとします。発表時間は，研究発表 1 件につき 20 分（発表 15 分，質疑応答 5 分）の予定です。優秀な発表は，学会長名にて表彰します。詳しくは，発表希望地区の実行委員長にご確認下さい。

（注）JSiSE 全国大会発表フォーマットは下記などからダウンロードして利用ください。

<http://www.jsise.org/taikai/2015/template/template.docx>

<http://www.jsise.org/taikai/2015/template/template.pdf>

また，発表原稿とっしよに著作権利用許諾書を提出ください。著作権利用許諾書の様式は以下からダウンロードしてください。

<http://www.jsise.org/utility/copyright.html>

2015 年度 JSiSE 学生研究発表会 発表申込書

| | |
|---|--|
| 氏名 (ふりがな) | |
| 学校名 | |
| 学部・学年 | |
| JSiSE 正会員である指導教員または推薦人の所属・氏名・E-Mail アドレス | |
| 発表希望場所 | |
| 口頭発表希望 or ポスター発表希望 | |
| 注意： 発表申込みをされた方は、下記の事項を了解されたとみなします。 発表原稿の題名，発表者名（共著者を含む），発表者の所属，発表原稿の内容は，学会本部の Web サイトに 1 年程度掲載（閲覧には簡単なパスワードが必要）します。 発表題目ならびに 200 字程度の発表要約を添付すること。 | |

2016 年度 JSiSE 全国大会(第 41 回)のご案内

2016 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

| | |
|-------|--|
| 開催日： | 2016 年 8 月 29 日(月)～31 日(水) |
| 開催場所： | 帝京大学 宇都宮キャンパス http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/ |

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

教育システム情報学会 2015 年度第 4 回研究会 開催報告

■テーマ：「新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般」

■開催日時：2015 年 11 月 21 日(土)

■会場：岩手県立大学アイーナキャンパス

■担当：研究会委員 三石大，光原弘幸，佐々木整

■会場担当：佐藤究，高木正則（岩手県立大学）

■発表件数：13 件 / 参加者数 26 名

■概要：

11/21(土) に岩手県立大学アイーナキャンパスを会場として「新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般」をテーマに 2015 年度第 4 回研究会を開催いたしました。今回の研究会では 13 件の発表があり，語学教育や体育教育，特別支援教育など，幅広い教育分野における情報技術活用の取組みのほか，ペン入力デバイスの活用やモバイル学習のためのプラットフォーム開発など，本研究会のテーマである情報技術を活用した新しい教育環境の開発やその実践に関する理論から実践まで，多岐に渡る研究報告を頂きました。また，会場校の岩手県立大学はもとより，全国各地から 26 名の方々にご参加頂き，活発な意見交換が行われ，大変有意義な研究会となりました。

なお，新技術の開発・活用による教育・学習環境のデザインをテーマとした研究会は，次年度は 2017 年 1 月に愛媛大学を会場に開催を予定しております。是非，また，多くの皆様と議論を深められればと考えておりますので，多数の皆様のご参加をお待ちしております。

最後に，今回，研究会会場をご提供頂くとともに当日の運営を支えて頂きました岩手県立大学ソフトウェア情報学部の佐藤先生，高木先生，ならびに学生の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

北信越支部より活動報告

教育システム情報学会北信越支部セッションを開催しました(2015.10.03)

去る 10 月 3 日，北信越地区は電子情報通信学会信越支部に協賛し，教育システム情報学会北信越支部セッションを開催しました。当日，学部 4 年生，修士 2 年生，大学事務職員，という 3 名の登壇者を迎え，意欲向上と Web デザイン，人の潜在能力育成を戦略的に行うための能力成長推定という発表に加え，実際に中規模私学における ICT 利用実践例としての全学 iPad 導入および管理体制についての発表がありました。当日，会場には教員 6 名を含む 12 名が参加し，長谷川忍副支部長（北陸先端技術大学院大学）を座長に迎え，活発な議論が行われました。

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

- JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
- 年間購読料 4,000 円/年 6 回発行<送料込>

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申し込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書を学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、事務局分室にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。

■学会事務局分室■

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人教育システム情報学会 事務局分室 宛
TEL 03-5937-5816
FAX 03-3368-2822
Email : secretariat@jsise.org

再度お知らせいたします

事務局より

教育システム情報学会会員 各位

一般社団法人教育システム情報学会
会長 仲林 清
事務局長 家本 修

会費納入のお願い

教育システム情報学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の活動にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

2015年度の年会費請求書に関しましては以前ご案内させて頂いた通り、2015年4月1日付にて発行いたしました。まだ、会費納入手続きを済まされていない会員の皆様におかれましては、以下の会員専用ページから会員様ご本人により、ダウンロードしていただきますようお願いいたします。また、ご納付には、クレジットカードでのお支払いをお薦めしております。是非ご協力頂きますようお願いいたします。

年会費未納の会員様につきましては、2014年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局分室までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。

会員専用ページのご案内

会員専用ページ URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしております、株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが下記事務局分室までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム（2015年1月にログイン）でご利用いただいたIDとパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。

何かご不明な点がございましたら、JSiSE事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

教育システム情報学会（JSiSE事務局分室）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



新入会員の紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2015/6～2015/11

| 会員名 | 会員種別 | 会員名 | 会員種別 | 会員名 | 会員種別 |
|--------|------|--------|------|--------------------|------|
| 原 一生 | 学生会員 | 北川 耕平 | 学生会員 | 名手 郁人 | 学生会員 |
| 竹谷 篤也 | 学生会員 | 古林 達哉 | 正会員 | 渡邊 文枝 | 学生会員 |
| 井上 裕之 | 学生会員 | 堀江 真弓 | 正会員 | 新井 正一 | 正会員 |
| 林 貴史 | 学生会員 | 稲葉 利江子 | 正会員 | 佐藤 和紀 | 学生会員 |
| 福坂 祥基 | 学生会員 | 吉原 和明 | 学生会員 | 寺嶋 康正 | 正会員 |
| 川井 淳矢 | 学生会員 | 鳶田 聡 | 正会員 | 金森 紀博 | 正会員 |
| 長岡 千香子 | 正会員 | 石村 司 | 学生会員 | 荒木 貴之 | 正会員 |
| 尾澤 重知 | 正会員 | 高良 貴博 | 学生会員 | 小林 雄志 | 正会員 |
| 大野 直子 | 正会員 | 栗飯原 萌 | 学生会員 | 太田 剛 | 学生会員 |
| 津田 真秀 | 学生会員 | 國村 圭太 | 学生会員 | 後藤 充裕 | 学生会員 |
| 内田 浩太郎 | 学生会員 | 宮本 優 | 学生会員 | 久保 大支 | 正会員 |
| 西尾 典洋 | 正会員 | 札幌 寛之 | 学生会員 | 庄司 一也 | 正会員 |
| 中原 敬広 | 正会員 | 村山 淳 | 正会員 | 竹中 喜一 | 学生会員 |
| 岡部 雅夫 | 正会員 | 高橋 徹 | 正会員 | 下坂 充 | 学生会員 |
| 新田 和弘 | 正会員 | 中林 誉登 | 学生会員 | 若月 徹 | 正会員 |
| 竹村 泰 | 正会員 | 嵯峨 智 | 正会員 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 | 賛助会員 |
| 松澤 拓也 | 学生会員 | 中山 祐貴 | 正会員 | | |
| 合 計 | | | | | |
| 正会員 | 24 名 | 学生会員 | 25 名 | 賛助会員 | 1 名 |